

土づくり

草花にとっては土が命の源です。元気で長く花を咲かせるためには、土づくりから始めなくてはなりません。

土には草花の生育に不可欠な養分や水分、空気が含まれています。

粘土のように固すぎる土は通気性が悪く、根からの呼吸ができなくなり、生育不良の原因となります。

いつもじめじめ湿っている土は、水はけが悪く、根ぐされの原因になります。

よい土の条件

- 1 通気性がよい(空気を含んでいる)
- 2 水もちがよい(砂質の強くない土)
- 3 水はけがよい(粘土質の強くない土)
- 4 清潔である
- 5 肥沃である
- 6 土の酸度が適当である

土の改良

花壇の土は、雨が降ったり、草花に養分を吸収されたりすることでやせていきます。また、酸性度が強くなったり、土が固まって通気性が悪くなったりしますので、土の改良が必要になります。

土の改良の仕方

- 1 植える部分より広めに土をよく掘り返して、土の上下を入れ替えるようにします。掘り返す深さは30～40cm程度で、小石や草花の根や小枝を取り除きます。
- 2 石灰は、草花を植える2週間くらい前に、1m²当たり100gほどをまいてよく混ぜます。酸性の土を好む種類には石灰を混ぜません。
- 3 堆肥、腐葉土、ピートモスなどの有機物(1m²当たりバケツ1杯程度)を土によく混ぜて耕します
- 4 粘土質が強い場合は、火山れき、川砂なども混ぜてあげます。

たいひ 堆肥の作り方

堆肥は園芸店やホームセンターで販売されていますが、場所さえあれば簡単に作ることができます。

- 1 適当な場所に50～100cm四方の穴を掘ります。